

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第四小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒206-0811
東京都稲城市押立1250番地

E-mail inagi4e@educet.plala.or.jp

Website <http://academic1.plala.or.jp/ine4e/00.coment/>

児童生徒数 男子 286名 女子 273名 合計 559名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域教育）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- 第1学年の生活科「ふゆをたのしもう」では、地域の方から昔遊びを教えていただいた。伝統的な遊びに触れながら、地域の高齢者の方々とも交流をし、地域とのつながりが深まった。
- 第2学年の生活科「まちをはっけん大はっけん」では、自分たちの住む町がどんな町なのか探検して気付いたことをグループでまとめ発表した。中でも、地域にある公園に着目し、そこでの遊び方を考えたり、公共施設の使い方を再確認したりすることで、自分自身と地域とのつながりが深まった。
- 第3学年の総合的な学習の時間「わたしたちのすてきな人」では、町にいるすてきな人について知り、自分たちもすてきな人となってできることを考え、学校の清掃活動などを行ったことで、地域の一員としての自覚が高まった。
- 第4学年の総合的な学習の時間「心のバリアフリー」では、高齢者疑似体験（視野狭窄眼鏡や重りの装着）を行い、高齢者の気持ちの理解を図った。車椅子体験も行い、障害のある方、介護する方の両者の気持ちを知り、ボランティアマインドを学んだ。また、地域に伝わる郷土芸能を知り、「いなぎ太鼓」について学び、演奏会を開いたことで、自分たちが伝統を継承していこうとする気持ちを育むことができた。
- 第5学年の総合的な学習の時間「地域のためにできること」では、近隣の保育園で職場体験を行い、保育士の仕事を知り、また、職場体験を計画・実行していく過程で、児童が他者の立場にたって物事を考え、自主的に活動できるようになった。
- 第6学年では、総合的な学習の時間や社会科の授業において、大学の専門の先生から環境について学び、持続可能な社会について考えを深めた。また、琴・茶道などの専門家に指導を受けながら日本の伝統文化の体験学習を行い、日本の伝統や文化を大切にし、自分の国を愛する心情を深めた。
- 学校では防災教育の充実に向けて、保護者と児童で帰宅困難の場合に役立つ「子ども防災自助パック」を準備し、学校で備蓄している。
- 児童会 運営委員会がユニセフ募金活動を実施し、ユニセフ協会へ募金をした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（運営委員会として実施）